

## コンパイラパッケージ M3T-NC30WA V.5.40 Release 00A ご使用上のお願い

M16C/60, M16C/30, M16C/20, M16C/10, M16C/TinyおよびR8C/Tinyシリーズ用 Cコンパイラパッケージ M3T-NC30WA V.5.40 Release 00Aの使用上の注意事項を連絡します。

- R8C/20, /21, /22, /23, /24または/25グループMCU用ソースコードを コンパイルする場合の注意事項

### 1. 内容

統合開発環境High-performance Embedded Workshopで、R8C/20, /21, /22, /23, /24または/25グループMCU用のプロジェクトを作成し、ビルドした場合、リンク時に以下のワーニングが発生する場合があります。

```
Warning (ln30) :16-bits signed value is out of range -32768 -- 32767.
```

このワーニングが発生したプログラムを実行すると暴走します。  
ワーニングが発生しない場合は、問題ありません。

### 2. 発生条件

High-performance Embedded Workshopでプロジェクトを作成する際、新規プロジェクト作成ダイアログボックスで以下の設定をしている。

- CPU Seriesリストボックスで、リストからR8C/Tinyを選択している。
- CPU Groupリストボックスで、リストから"20", "21", "22", "23", "24", "25"のいずれかを選択している（すなわちR8C/20, /21, /22, /23, /24または/25グループの ROM 48 K版を選択している）。

注意： CPU Groupで、"20(ROM64K)"や"24(ROM32K)"などを選択した場合（つまりROM 48 K版以外を選択した場合は該当しません。

### 3. 回避策

const修飾された変数がnear領域に配置されるよう、以下の手順で設定してください。

- (1) High-performance Embedded Workshopのビルドメニューから Renesas M16C Standard Toolchainコマンドを選択して、Renesas M16C Standard Toolchainダイアログボックスを開く。
- (2) CPUタブを選択し、CPU Typeリストボックスで、リストから Generates code for R8C/Tiny (R8C/2X) seriesを選択する。
- (3) Cタブを選択し、CategoryリストボックスでリストからCode Modificationを選択し、Miscellaneous optionsセクションでチェックボックス-fNROMをチェックする。
- (4) OKボタンを押して開いたウィンドウを閉じる。

### 4. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

---

#### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。